

<表—1>

# 地先海面の水面利用のパターン

法律 漁業法 漁業権	漁業的利用 水産動植物の採捕又は養殖・漁業権行使	営利的目的	漁業・養殖	漁場の管理	入漁権漁業・自由漁業その他(注4)
		非営利的目的	遊漁		自由漁業・釣(沿岸・遊漁船乗船等による)
			自家用漁		自由漁業・釣(沿岸・遊漁船乗船等による)
			試験研究		公的調査研究
慣習 入会権	漁業的利用 (漁場行使の慣習＝解禁・禁漁・入漁・漁場行使等ルール)	営利的目的	漁業・養殖		X
	入会的利用 (入会権に基づく磯草類の採取)	営利的目的 非営利的目的	磯草の採取		
LR	市民の利用 (潮干狩り料・潜水料・環境保全協力金＝徴収)(漁船渡船料・施設利用料＝注2)	営利的目的 非営利的目的 (注3)	遊漁船・渡船 マリンレジャー 環境教育	協定・条例 自主的開放	市民の利用(渡船料・潜水料・環境保全協力金＝支払い)
地域社会内の構成員による利用 ←					→ 地域社会の外の市民(漁民)からの入域利用

<図-1> すさみ漁協の地先権とDS利用(模式図)

